

第6回日立記録会タイムテーブル

【競技時間】

NO	競技開始時間	種別	種目	組数	招集開始	招集終了	備考
1	9:00	高校一般男子	3000m	1組	8:10	9:30	
2	9:15	中学男子	3000m	2組	8:25	8:45	
3	9:45	中学女子	3000m	1組	8:55	9:15	同時スタート
4		高校一般女子	3000m	1組			
5	10:00	小学女子	1000m	3組	9:10	9:30	
6	10:20	小学男子	1000m	3組	9:30	9:50	
7	10:40	高校一般男子	5000m	1組	9:50	10:10	

第2回市内小学生陸上グランプリ大会タイムテーブル

【競技時間】

NO	競技開始時間	種別	種目	組数	招集開始	招集終了	備考
1	11:15	小学女子（予選）	100m	2組	10:25	10:45	上位16名がA/B決勝進出
2	11:25	小学男子（予選）	100m	2組	10:35	10:55	上位16名がA/B決勝進出
11:45～12:05			日立ランニングフェスティバル開会式（同時開催：開始時間 13:00～）				
3	12:10	小学女子（決勝）	走幅跳		11:20	11:40	Aピット
4	12:10	小学男子（決勝）	走幅跳		11:20	11:40	Bピット
5	12:15	小学女子（決勝）	1000m	1組	11:25	11:45	
6	12:25	小学男子（決勝）	1000m	1組	11:35	11:55	
7	12:35	小学女子（決勝）	100m	2組	11:45	12:05	
8	12:45	小学男子（決勝）	100m	2組	11:55	12:15	

参加上の注意等

- 本大会は、2019年度日本陸連競技規則並びに本記録会の申し合わせ事項によって行う。
 - トラック競技（長距離種目）のスタート時のコールは、イングリッシュ・コール（『On Your Mark』）で行います。
- 種目によってはエントリー数の関係で男女が一緒の場合があります。
- 招集所は、100mスタート側第1ゲート外側脇付近に設けます。
- 招集（コール）は次の通りとします。
 - コールは、本人が招集開始時刻から招集完了時刻までに、招集所にてナンバーカード・腰ナンバーカードのチェックを受ける。（腰ナンバーカードは日立陸協指定のものを受け取り、折り曲げずに右腰やや後方に着ける）
 - チェックを受けた後、競技場所に移動する。
 - 招集所では、スタートリストは掲載されないため、招集所係員に必ず申し出ること。
 - 選手はユニフォームを着用して、コールを受けること。
 - 招集所完了時刻までに、チェックを受けない競技者は棄権とみなす。
 - 招集所でチェックを受けない競技者は、競技場所に移動しない。
- 受付で貸与された「ナンバーカード」（胸と背及び腰）は、競技終了後、外して係員に渡してください。
- ナンバーカードの「A」「B」「X-（数字、ハイフン）」はプログラムには表示されませんので、招集（コール）の際は間違わないようご注意ください。
- 競技中はスタンド下のピロティには選手、競技役員以外入らないようにお願いします。
- 今回は第2回市内小学生グランプリ大会も同時開催します。
 - グランプリ大会は公平を規すため、短距離種目においてはスターティングブロックの使用はOKとしますがスパイクの使用はNGとします。
 - 短距離種目については予選・決勝を行います。決勝はA決勝（予選上位8名）、B決勝（予選9位～16位による順位決定レース）の2レースを行います。
 - 走幅跳については、3回の試技のあとベスト8を選出しさらに3回の試技を行い順位を決定します。
 - 長距離種目については、決勝のみにて順位を決定します。
 - 各種目（男女100m、男女1000m、男女走幅跳）ごとに表彰がありますので、該当者は決勝終了後、すみやかに放送室前に参集ください。（表彰は1位～3位でメダル授与）
 - 小学生大会時は、ピロティ及びトラック外側を一部開放しますが、応援及び撮影は大会本部より指定された場所をお願い致します。

撮影に関するお願い事項（一般来場者、学校関係者、保護者のみなさま）

1. 撮影を行う場合、主催者より許可を得た報道機関以外はすべてスタンドの上から撮影を行ってください。
 - ・報道機関の方は、受付にてビブスを受け取ってから撮影を行ってください。（競技場内はビブス着用）
2. 保護者及び本人の了解がない撮影を禁止します。
3. 盗撮・透過撮影行為防止のため、競技者に迷惑のかかるおそれのある全ての方向からの撮影・行動を禁止します。
 - ・トラック種目のスタート時、フィニッシュ直後 …… 前方・後方からの撮影
 - ・走高跳、走幅跳、棒高跳の助走後方・着地前方（砂場正面）からの撮影
 - ・走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）からの撮影
 - ・砲丸投 …… 競技者正面からの撮影
4. 選手がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っていたりしている間や、身体を動かしているなどの準備を行っているときの撮影を禁止します。
5. 他者に著しく迷惑をかける行為として主催者が判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。
6. 撮影の仕方が不自然な場合や盗撮が疑われる場合には、競技役員が撮影の内容の確認をさせていただく場合があります。
7. 競技運営上、競技役員判断により上記以外に撮影エリアを設ける場合があります。
8. その他、上記の内容も含めて競技運営上の都合により（大会当日も含む）変更する場合があります。その際は、競技役員からの指示に従ってください。

* 盗撮行為を発見された場合は、お近くの競技役員までお知らせください。

救護・応急処置に関する事項

1. 応急処置を要する場合、その他健康上の問題が生じた場合は、近くの競技役員に申し出て救護室を利用してください。（看護師が常駐）
2. 競技会当日の競技場内での疾病、傷害などの応急処置は主催者が行いますが、以後の責任はおりません。

大会緊急時及び安全対策に関する事項

1. 自然災害に対する対応
 - ① 荒天時（大雨・暴風警報等）
避難が必要な場合、場内アナウンスや係員の誘導に従い、安全な場所へ速やかに移動する。
 - ② 火災
 - a. 第一発見者は、大声で周囲の人に呼びかけ、非常ベルを押す。
 - b. 大会本部に通報する。
 - c. 場内アナウンスや係員の誘導に従い、慌てずに避難場所へ移動する。
 - ③ 地震
大揺れの最中（発生から30秒～1分）
 - a. 身の安全を図るため頭部・首を持ち物（バッグ）や衣類等で保護する。
 - b. 危険な場所（窓ガラス付近）にいる場合は、安全な場所へ移動する。
 - c. 安全な場所にいる場合は、その場を動かない。
大揺れおさまる
 - a. 余震や出火の危険もあり、混乱を避けるため、危険な場所にいる場合以外は場内アナウンスや係員の指示があるまでは、その場を動かない。
 - b. 負傷者を発見した場合は、近くの大会関係者や大会本部に通報する。
 - c. 避難が必要な場合は、場内アナウンスや係員の誘導に従い慌てずに避難場所へ移動する。
2. 不審者・不審物に対する対応
 - ① 不審者による危機発生時の緊急対応
 - a. 第1発見者は、近くの大会関係者や大会本部に通報する。
 - ② 不審物に対する対応
 - a. 不審物を発見した場合は、「触れず・動かさず・近づかず」に直ちに近くの大会関係者や大会本部に通報する。
 - b. 場内アナウンスによる避難指示があった場合は、速やかに従う。